

結



創造喜多方

齋藤仁一の喜多方市議会報告Ⅷ-16

高郷地区から、小中学校存続の要望提出

私は、3月議会定例会(2月24日〜3月14日)で「小中学校統廃合計画に関する「高郷地区に小中学校を残す会」の要望について」一般質問をしました。

高郷地区に小中学校を残してほしい

私は、「高郷地区に小中学校を残す会」で、小中学校存続のための要望書を市長に提出したが、その回答はどのようなものだったのか」と質問しました。

教育長は、「1月30日に提出された要望は、小中学校適正規模適正配置実施計画から、高郷地区の小中学校の統廃合を削除し、学校存続を求めるものであった。この要望に対して、実施計画はコンパクト化されたものでないこと、適正規模適正配置の基本的な考えは、子ども達の教育環境を第一に考え、そのうえで、地域の実情に配慮していくことが重要であること、地域の皆さんとの話し合いにより進めていくこと、何より子ども達の教育環境が重要であると回答をした」と答弁しました。

現在、実施計画の再検討作業中

私は、「この事を受けて、小中学校適正規模適正配置実施計画について、今後どう進める考えなのか」と質問しました。

教育長は、「現在、実施計画の再検討作業を進めている。今回の要望は、これまでの説明会等での意見とともに、十分検討していく。見直し後の実施計画について、取りまとめ後、各種会議において協議を進め、2023年度の早い時期に策定していく」と答弁しました。

私は、「現在、再検討中で早い時期に示すとのことだが、高郷地区の小中学校を残してほしいという視点で見直しするのか、それとも今まで示してきた実施計画で

検討するのか。また、示す時期についてはいつになるのか」と質問しました。

教育長は、「高郷地区からの要望も含めて再検討をしている。時期については明言できない。できるだけ早い時期に示していきたい」と答弁しました。

要望は、「重くうけとめている」

私は、「高郷地区からの、小中学校を残してほしいという要望について、重く受けとめているのか」と質問しました。

教育長は、「高郷地区からのアンケート及び要望については、一定の数にもなっているので、重くうけとめている」と答弁しました。

新型コロナウイルスの影響が、深刻

私は、「新型コロナウイルス感染症の影響による市の実態、特に、社会福祉協議会で行われている生活困窮者自立相談支援事業の相談件数及びその内容、住居確保給付金の支給実績、生活福祉資金貸付支給実績はどうなっているのか」と質問しました。



私が所属している文教厚生常任委員会、この任期最後の審査3月7日8日

保健福祉部長は、「相談内容は、家賃や住宅ローンの支払い、税金や公共料金の支払い、債務などで、相談件数は、以下の通りである。また、住居確保給付金は緊急小口資金、総合支援資金貸付の推移は以下の通りである」と答弁しました。

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
相談件数	2, 221	3, 479	4, 047	2, 838 12月まで
住居確保給付金	0	47 170	51 190	30 94 1月まで
緊急小口資金	5 47	212 3, 875	119 2, 278	26 500 9月で終了
総合支援資金	0	147 7, 900	248 13, 155	31 1, 695 9月で終了

*表の上段は件数、下段の単位は万円、なお、2019、2020年度は過去の一般質問の答弁時の数値です。

私は、「このような状況が継続している中、市は新年度どのような対策を講じているのか」と質問しました。

産業部長及び保健福祉部長は、「新型コロナウイルス感染症の影響は、今後も続く見通しであることから、事業者の経済的負担の軽減を図るため、引き続き『新型コロナウイルス対策特別資金利子補給事業』を実施する。また、生活に困りごとを抱えた方に対し、引き続き、既存の生活困窮者自立相談支援事業や生活保護制度などによって丁寧に対応する」と答弁しました。

新図書館建設、旧東高校跡地に見直しを

「トコが聞きたい」3月議会定例会



3月議会一般質問に登壇

問新図書館建設については、当初計画より600㎡増の2100㎡になる計画であるが、財源内訳も含めて財政的にはどうなるのか。

教育部長資材価格の高騰や労働単価の上昇により高い水準である。ひとつくり交流拠点施設整備事業Ⅱ期施設の延べ床面積は、当初計画より約950㎡増加し約3400㎡としたことから、建設事業費は20億5千万円以上と試算している。これは当初見込みより4億8千万以上の増額となる。また、財源内訳は、合併特例債と一般財源となる予定である。

問県の方針では、旧東高校について、無償譲渡や改修費用への補助金創設など、所在市町村の利活用支援策を打ち出すとされているが、ここを新図書館として進める考えはないか。

教育部長新図書館建設は、平成31年に策定した「旧県立病院跡地及び旧県立喜多

方商業高校跡地整備計画基本構想」を基に、図書館や子ども遊び場などの複合施設として整備することとしている。これまでも市民ワークショップやアンケート調査を行い市民の意見を聞き、また、議会への説明をして、議員の方々の理解を得た上で事業を進めているので、ひとつくり・交流拠点施設として整備する。

問喜多方市の財政状況、特に、財政調整基金残高が新年度末で2億7千万円程度減債基金は、8900万円程度になる見込みである。このような厳しい財政状況の中、県が示した支援策は一考に値する。また、旧東高校の跡地の広さを考えると郷土民俗資料館なども併設できる。ここへ見直しすべきと思うがどうか。

教育部長複合施設は、Ⅰ期施設と一体型のある施設として整備することによって一層の賑わい創出を図り、多様な連携により、様々な魅力、活力を生み出す事ができる。また、Ⅰ期施設に遊びに来た子ども達が、本を読むメリットもある。

問私の所属している創造喜多方は、複合施設Ⅱ期建設案が示された時に、図書館は別の場所にすべきとして、修正動議を提出したが可決されなかった。今改めてひっ迫する財政状況、また、県の支援策が出てくる時である。そして、基本計画を策定する段階であることから、見直しする絶好の機会であるがどうか。

副市長複合施設Ⅱ期工事として、図書館建設を進め、賑わいのある施設とする考えである。老朽化した厚生会館などの機能も合わせて整備することで新しいまちづくりの拠点施設として整備する。

平和、命、暮らしを壊す大軍拡、増税に反対する意見書提出の請願は、不採択

請願者 福島県教職員組合耶麻支部

支部長 佐藤智子さん

請願事項

1 平和、命、暮らしを壊し、国民に負担を押しつける大軍拡、増税はやめること

2 大軍拡などを決定した「安保関連3文書」改訂を撤回すること

討論後採決が行われ、賛成10反対11で不採択となりました。私は賛成しました

戦争準備に反対する陳情は、採択

陳情者 喜多方母親連絡会

代表 小澤智子さん

陳情事項

1 喜多方市は、日本政府が核兵器禁止条約に加盟することを求めること

2 喜多方市は、憲法9条を守り、「戦争をしない平和の決意」をすること

討論後、採決が行われ、賛成11反対10で採択となりました。私は賛成しました。



広大な土地が広がる旧福島県立喜多方東高校

あとがき

◆この任期最後の3月議会定例会でした。私は、年4回開催される議会定例会で必ず一般質問すること、提出された議案に対して質疑をすることを自分の責務と捉えています。それは多くの方々から託された「議員としての発言権」を行使することにつながるからです。そして、定例会終了後に必ず議会報告書を発行してきました。4年間×年4回の議会定例会ですので、16号になります。この報告書発行を終えて一つの議会定例会が終わります。この4年間も多くの皆さんに支えられ、叱咤激励をいただき、その任務を全うすることができました。これも一重に皆様からのご支持ご支援そしてご指導とご鞭撻の賜物と心から感謝申し上げます。

◆2月24日は、ロシア軍がウクライナに侵攻した日です。一年が経過しても戦争は終わっていません。国連憲章には「国際的平和と安全を維持すること」とありまた「加盟国は、国際紛争を平和的手段によって国際的平和および安全ならびに正義を危うくしないように解決しなければならぬ」と規定されています。今こそ国連加盟の世界のリーダー達は、国連憲章の指針を基に、人を殺し合う戦争を終わらせるために知恵を出すべきです。

結(ゆい)Ⅷ-16 斎藤仁一後援会

- 発行 2023年 春号
- 発行責任者 斎藤 仁一
- 住所 (〒969-4105) 山都町三津合字河原田 4848
- Tel&Fax 0241 (38) 2788
- Facebook Jinichi.saito.10
- E-mail ご意見・ご要望を rss02574@nifty.com